

東 部

地域局

通 信

第32号

2025.9.24

発行 静岡県東部地域局地域課



こんにちは！ 静岡県東部地域局です。

東部地域局通信は、静岡県東部の14市町の様々な情報を局員それぞれが独自の視点で取材編集しています。世界文化遺産である富士山や、ユネスコ世界ジオパークの伊豆半島、世界農業遺産の「わさび」など、世界に誇る地域資源に恵まれている東部地域の魅力をお届けします。

局員一人一人の個性あふれる記事にも御注目ください。お楽しみに！

「オールしずおか移動知事室」を実施しました！

知事が県内各地に出向いて直接現場を視察する「オールしずおか移動知事室」を、9月3日・4日に東部地域で開催しました。東部総合庁舎において知事室を開所し、知事が幹部職員に対して訓示を行い、その後、函南町など2日間で東部6市町を移動し、各地の優れた取組を視察しました。

(担当:小田)



SPOT 01

伊豆ゲートウェイ函南 道の駅・川の駅

函南町

平成29年に函南町によって整備された道の駅は、伊豆の玄関口として年間約190万人が利用する施設です。川の駅は平成31年に沼津河川国道事務所と函南町が共同で整備し、平時は狩野川に関する学習の場、アウトドアスポーツの場、賑わい・交流の場として利用し、災害時には災害復旧の拠点「防災ステーション」となります。

当日は、函南町建設経済部長、沼津河川国道事務所長、道の駅長、川の駅長から施設の概要と利活用の説明を受け、水辺・芝生広場や物産販売所・観光案内所を視察しました。



SPOT 02

株式会社エステック

清水町

同社は、昭和54年創業のチタン等の難削材精密加工において高い技術力を有する金属加工メーカーです。

当日は、鈴木誠一代表取締役から、航空宇宙産業の現状や部品に求められる精度などの話を聴き、その後、工場内の切削マシンや高精度3次元測定器、研磨作業などを見学し、今後の航空宇宙産業に関する意見交換を行いました。



SPOT 03

静岡がんセンター

長泉町

平成14年に開設した同施設は、国内トップレベルの医療従事者が最先端の医療機器や診断システムを駆使して治療を行っており、日本全体のがん医療やがん研究に大きく貢献しています。患者家族の支援体制も整備されており、国内の3大がん治療拠点の一つに数えられます。

化学療法センター、手術支援ロボット「ダヴィンチ」、放射線・陽子線治療センターを視察したのち、若手医師確保と地域への貢献などについて意見交換しました。



SPOT
04

スポーツツーリズムの推進

裾野市

裾野市では、標高1,450mの準高地にある水ヶ塚公園クロスカントリーコースや陸上競技場などの多彩なトレーニング環境を生かして、**スポーツ合宿誘致**に取り組んでいます。令和6年には、元実業団の陸上選手・萩原歩美氏(平成26年韓国・仁川アジア大会陸上女子1万㍑銅メダリスト)を地域おこし協力隊員に採用し取組を強化しています。萩原氏からは、指導者への直接訪問や駅伝会場での誘致活動、スポーツイベントの活動について、村田市長・大西副市長からは、市の戦略や取組の説明を受け、今後の展開について意見交換しました。

SPOT
05

新東名高速道路

御殿場市・小山町

新御殿場ICから新秦野ICまでの**未開通区間**については、NEXCO中日本が令和9年度の開通に向け工事を進めています。

当日は、NEXCO中日本東京支社長、沼津工事事務所長らから、未開通区間本線道路上で道路の構造や濃霧対策について説明を受け、その後、小山PA(スマートIC設置予定)の工事現場にて工事の進捗状況を確認しました。

SPOT
06

フロンティア推進区域への企業立地

小山町

陸上養殖施設と木質バイオマス発電施設の2か所を視察しました。

Proximar(株)は、**99.7%の水を循環させてアトランティックサーモンを養殖**する会社です。当日は、陸上養殖の必要性やその仕組みなどの説明を受けた後、アトランティックサーモンが水槽から加工施設に移される様子を視察しました。

(株)FOREST CYCLEは、森林整備の間伐等で発生する**未利用材を工場**でチップ・ペレット化し、木質バイオマス発電等を行う会社です。当日は、チップ・ペレットが製造される工程や、ペレットをガス化し発電する施設を見学しました。



「温泉旅館オフィス化事業」が本格始動！

～「温泉旅館」×「スタートアップ」で地域課題の解決を目指します～



県が取り組む「伊豆ヘルスケア温泉イノベーションプロジェクト(通称 ICOIプロジェクト)」の一環である「温泉旅館オフィス化事業」が、伊豆の国市で本格始動しました！老舗旅館にスタートアップがオフィスを構え、地域課題の解決を目指します。

「温泉旅館オフィス化事業」では、温泉旅館の空きスペースをオフィスに改修しスタートアップを誘致することで、新たな製品・サービスの創出による地域課題の解決を目指します。今回、伊豆の国市の老舗旅館「香湯楼井川」に入居第1号となる(株)イノベーションパートナーズが拠点を構え、7月29日に知事出席のもと、市と同社との協定締結式が行われました。

県では今後、伊豆半島の他地域でも同事業を推進し、スタートアップと連携して地域課題の解決を目指します。



- ▲ 香湯楼井川
- ▼ 空きスペースがオフィスに



(担当:駒谷)

●「ICOIプロジェクト」とは？



全国トップクラスとされる伊豆半島地域の豊富な温泉資源を活用し、食や運動などを組み合わせた新しい「ヘルスケア産業」の創出を目指すプロジェクトです。地域資源やスポーツ科学などの知見を組み合わせ、官民が一体となって地域に適したヘルスケアサービスなどを創出することで、地域活性化と産業振興を図ります。

詳細はこちら ▼



【問合せ先】静岡県新産業集積課 ☎ 054(221)2985

「静岡まるごと移住フェア」が開催されました！

毎年開催されている静岡県最大級の移住相談会「静岡まるごと移住フェア」が、8月3日に東京都有楽町の東京交通会館で開催され、300人近くの方が来場する大盛況となりました！会場では県内市町や関係団体の担当者がそれぞれブースを設け、暮らしや仕事、住まいについての幅広い相談を受け付けました。

東部地域では、三島市や沼津市などをはじめとする多くの市町ブースが賑わいを見せ、関東圏に在住する移住希望者の東部地域への関心の高さが伺えました！

次回の開催は令和8年2月14日を予定しています。

(担当:下田)



相談会当日の様子

NEWS

駿河湾フェリー

自動車とバイクの乗船が再開！



9月12日(金)、駿河湾フェリーへの**自動車とバイクの乗船が再開しました！**

静岡市の清水港と伊豆市の土肥港を結ぶ駿河湾フェリーは、富士山を背景に、広大な駿河湾を約90分で横断します。船上で海越しの富士山を見ながらゆったりと過ごした後は、静岡の市街地や伊豆半島の大自然のなかでのドライブ・ツーリングを楽しんでください！

(担当:駒谷)



	清水港 → 土肥港	土肥港 → 清水港	
第1便	07:40	09:10	09:35 11:05
第2便	11:20	12:50	13:00 14:30
第3便	14:40	16:10	16:30 18:00

「和食展しずおか」が開催されます！

ユネスコ無形文化遺産に「和食」が登録され10年の節目を迎えることを記念し、特別展「和食～日本の自然、人々の知恵～」の全国巡回が2023年からスタートしています。今秋、この特別展と静岡県の食文化を紹介する「和食展しずおか」が静岡県で開催されます！

普段何気なく食べている和食の「おいしさ」の歴史や工夫を知ることができるこの機会をお見逃しなく！

(担当:藤井)

開催期間	10月11日(土)～12月14日(日)
開催場所	清水マリンビル(静岡市清水区日の出町9-25) フェルケール博物館(静岡市清水区港町2-8-11)
開館時間	9:30～17:00(最終入場16:30) 毎週月曜休館(ただし月曜日が祝日の場合は次の平日)
観覧料	大人 1,500円 (※前売券:1,300円) 小・中・高・大学生 600円 (※前売券:500円)



和食展しずおか
公式サイト



知っていますか？ 津波警報・注意報

7月30日にカムチャツカ半島東方沖で発生した地震では、当初津波注意報が発表され、その後津波警報に切り替えられましたが、津波警報発表により多くの交通機関が止まり、海岸線の道路も通行止めと多くの方の帰宅の足に影響が出ました。津波警報や注意報の基準はどうなっているのでしょうか。

「津波注意報」は最大の波の高さが0.2～1.0m、「津波警報」は1.0～3.0m、「大津波警報」は3.0m以上が予想される場合に発表されます。地震が発生すると、気象庁は地震の規模や位置を推定し、予想される津波の高さを求め、3分程度で津波に関する情報を発表します。

ただ、海外の遠隔地やマグネチュード8を超える大規模地震では、正確な数値がすぐに出ないケースもあり、今回のように再計算により津波の予想高が高くなるケースもあります。「津波注意報だから避難しなくても大丈夫」などとは考えずに、まずは避難し、そのあとに正確な情報の入手に努めることが大切です。

種類	最大波の高さ	取るべき行動
大津波警報	3.0m～	沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難
津波警報	1.0～3.0m	
津波注意報	0.2～1.0m	海の中にいる人は、ただちに海から上がって海岸から離れる



▲ 気象庁ホームページより



(担当:太田)

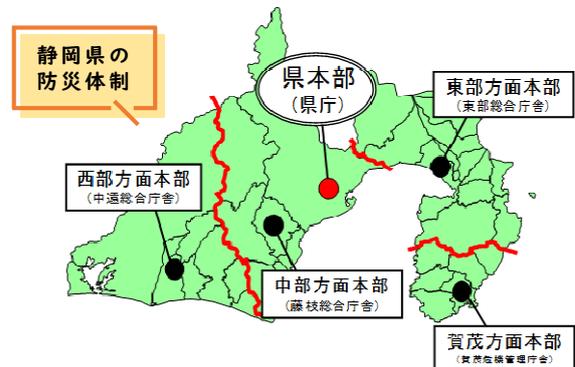
総合防災訓練を実施しました

8月27日の午前8時30分から正午にかけて、南海トラフ地震を想定した本部運営訓練を全庁体制で実施しました。地域防災計画等に基づき県が実施する災害応急対策の習熟・検証を図るとともに、国、応援県、市町及び防災関係機関との連携を再確認しました。

静岡県は人口・面積ともに規模が大きく、本庁だけで全域を管理するのが難しいため、有事には「賀茂・東部・中部・西部」の4つの方面本部を設置します。東部方面本部はそのうちの1つとして、東部管内の災害応急対策を一元的に実施する司令塔の役割を担います。



訓練の様子



本県は南海トラフ地震をはじめ、台風や豪雨など、様々な自然災害のリスクを抱えています。災害はいつ、どこで発生するか分かりません。訓練を通じ、日頃からの備えと、地域全体での連携が何よりも重要であることを再認識しました。

(担当:小川)



静岡県東部地域局

〒410-0055 静岡県沼津市高島本町1-3

055-920-2139

toubu-chiiki@pref.shizuoka.lg.jp

<https://www.pref.shizuoka.jp/>

X



Instagram



note



◀ 東部地域局公式SNSでも
様々な情報を発信しています！
QR読み取り、またはクリックでチェック！

東部地域局は、富士山麓地域から伊豆半島地域にわたる県東部地域の14市町を担当エリアとしており、自然災害などの危機事案への対応、地域振興や伊豆半島地域の観光振興などを担っております。

沼津市・熱海市・三島市・富士宮市・伊東市・
富士市・御殿場市・裾野市・伊豆市・伊豆の国市・
函南町・清水町・長泉町・小山町

